

令和5年度 第1回 新潟市白根地区公民館運営審議会 議事概要

日時： 令和5年7月10日（月）午前10時から午前11時30分
場所： 白根学習館2階 ルーム1・2
出席者： 運営審議会委員 井浦委員、平山委員、小松委員、諸原委員、浅間委員
欠席者： " 丸山（恵）委員、上杉委員、丸山（孝）委員、栗田委員、野本委員
事務局： 白根地区公民館 杉山館長、小林、田中、笠井、関根、渡辺、八木、田部、山際
 味方地区公民館 村山館長、海藤
 月潟地区公民館 相馬館長、五十嵐

- 1 開会
- 2 館長あいさつ（白根地区公民館長）
- 3 委員自己紹介（第2回に持ち越し）
- 4 公民館職員自己紹介
- 5 議長・副議長選出（議長…小松氏盛委員、副議長…丸山孝子委員）
- 6 議長・副議長あいさつ（議長のみ）
- 7 議事

（1）令和4年度公民館事業報告について

（事務局） 「令和4年度公民館事業報告」について、白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の各館長が総括し説明。

（小松議長） 白根地区公民館の「ゆりかご学級」でオンラインで取り組んだとのことですが、その状況や参加者の感想などをお聞きかせください。

（事務局） 「ゆりかご学級」については、4期の第2回目が大寒波と重なり、急遽、Zoomでの開催となりました。参加者7名中6名が参加しましたが、「対面が良かった」という声の他、寒い中、子連れで外出せずに済んだので良かったという声もいただきました。

また、その前日には「子育て広場モモ」があったのですが、講師が関東圏の方でしたので、講師と会場とをZoomで繋いでハイブリッド型で開催しました。

（小松議長） ありがとうございます。ほか、ご質問等なければ次の議題に進みます。

（2）新潟市公民館事業の基本方針について

（白根地区公民館長） 令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間として、「新潟市教育ビジョン第4期計画」を策定し実施しています。「令和4年度新潟市公民館事業の基本方針」についても、これに合わせて同じ期間で実施中です。この基本方針のもと、地域の実情やニーズに合わせて、地域公民館事業を展開し、地域コミュニティの活性化や、子どもから高齢者までの幅広い世代へ学びの場を提供し、支援に努めていきたいと思えます。

（小松議長） この基本方針をもとに地域活動、公民館活動を実施するということですが、質問はありますか。（質疑なし）

(3) 令和5年度公民館事業計画および実施状況について

(事務局) 「令和5年度公民館事業計画および実施状況」について、白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の各館長が総括し説明。その後、主な事業について各担当から説明。

(浅間委員) 職員の減員の説明がありましたが、各館の状況を教えてください。

(事務局) 白根地区公民館は減員はありません。味方地区公民館と月潟地区公民館において各1名の減員があり、それぞれ職員2名となり、白根地区公民館の職員数は9名です。

(小松議長) 「南区中学生ボランティア交流会」はどのくらいの人数規模なのか教えてください。

(事務局) 南区内には中学校が6校あり、詳細は決まっていますが、1校に対して中学生5名ほど参加の依頼をする予定で計30名程度となります。

(小松議長) チラシ資料の中で、白根、味方、月潟地区公民館の3館連携事業ということで、「南区地域学」が既に始まっているかと思いますが、3地区の受講生の割合を教えてください。

(事務局) 味方、月潟地区にもチラシを配布し、30名を募集したところ、定員30名の応募がありました。主に南区の方が多く、味方地区で西白根、月潟地区では木滑からも応募がありました。

(小松議長) 味方、月潟地区公民館が連携した「ヨガ教室」もあるようですが、職員数が減ってきているというところから、南区全体での取り組みを見据えた事業は、これからも計画される方向で、なかなか難しいとは思いますが、今年度の連携事業を実施した結果の反省を次年度お聞きできればと思います。

(浅間委員) 新飯田地区、小林地区がありますが、以前、分館制度のようなものがあったのでしょうか。

(事務局) 味方は3館あり、各々が公民館としての位置づけです。月潟は現在1館です。旧白根市は各地区に分館がありましたが、廃止となりコミセン、地域生活センターとなっています。

(浅間委員) 今後は南区全体として進めていく形になるのでしょうか。

(白根地区公民館長) これからもこういった部分で連携できるかというところですが、新潟市公民館全体の取り組みとして、ICTの活用、Zoomを初めオンライン、対面、ハイブリッドなど、いろいろな形がありますが、市民に対するデジタルリテラシーの向上であったり、公民館職員の能力向上も中央公民館の方針としてありますので、そういった部分も含めて公民館活動に取り組んでいきたいと思っています。

(小松議長) 今年度事業を実施してみて、新しい取り組みが出来るかどうかも含めて、またお話し出来ればと思います。

(浅間委員) 各区が抱えている課題は違うかと思いますが、南区特有のものがあれば教えてください。

(白根地区公民館長) 地域の特性でいうと、白根高校との連携が区ビジョンで位置づけられているので、南区特有ではないかと思っています。

(小松議長) ありがとうございます。ほか、ご質問、ご意見がないようでしたら、各委員から一言ずつコメントを頂ければと存じます。

(井浦委員) 今年4年ぶりに「子ども大凧合戦大会」が開催できたこと、感謝申し上げます。学校側は経験が全くないということで心配でしたが、公民館の皆さんや、それぞれ地域の方たちからサポートしていただきました。唯一、子ども凧合戦の日が一番風が良かったということで、合戦らしい合戦となり、今後が続いていく第1歩になったと思います。

事業内容の中で、学校もQRコードでの申し込みに移行していますが、例えば「南区地域学」でいうとQRコードでの申し込み状況の割合はどの程度でしょうか。

(事務局) 「南区地域学」の受講生は高齢者が多く、30名応募のうち約13名は電話での申し込みです。窓口と電話で半数、残りはメールと「かんたん申込み(QRコード)」でした。

(平山委員) 職員が減の中、これまでの活動を維持するもの、効率化を図るもの、新たに行うもの、さまざまなところを議論しながら進められており、改めて理解することができました。私は社会教育委員ということもあり提言させていただきますが、令和8年4月の部活動の地域移行に向けて、公民館職員のマンパワーが減っているということもお聞きしましたので、中学生を事業等の運営ボランティアとして活用していただくことを今後ご検討いただければと思います。

(諸原委員) 今年の白根凧合戦は初日だけ風の条件が良かったものの、後は風が悪く、現場の一員として残念でした。基本方針である「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」がありますが、凧合戦は1年の内わずか5日間ですが、5日間だけでなく年間を通じてやれるコミュニケーションというのが非常に大事だと考えています。フェスティバルや大会というのは手間暇、費用もかかるため難しいとは思いますが。各公民館事業を見ると年代層が決まっているものが多いですが、各年齢層が一緒になってやれるイベントを考えていくのも一案かと思えます。

(小松議長) ありがとうございます。議題(4)「その他」ですが、審議されたもののほか何かありますかでしょうか。(なし)

議事を終了し、進行を事務局にお返しします。

8 その他(連絡事項等)

(事務局) 令和5年度第2回運営審議会について、令和6年3月頃の開催予定であることを説明。

(事務局) 以上で白根地区公民館運営審議会を終了いたします。本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

9 閉会